



社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ふらっと」
〒951-8142
新潟市中央区関屋大川前1丁目2番28号
TEL 025(265)5958 FAX 025(265)5948
相談専用 TEL 025(265)5957
E-Mail : furatto@chive.ocn.ne.jp
URL: http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/

6月の臨時休館のお知らせ

18日(土)は後援会のつどいのため、休館させていただきます。

● ● ● 6月 ふらっと予定 ● ● ●

- 茶話会・・・ 4日(土) 13:30～地域交流室にて。(女性のための茶話会です)
- 面白ろクッキング・・・ 10日(金) 11:00～13:00 地域交流室にて 定員5名
エプロン、三角巾のご用意をお願いします。

今月は金曜日に行いますのでご注意ください。

*事前に、担当山岸までお申込みください。

- 昼食会・・・ 11日(土) 当日 10:30までにお申し込み下さい。
- 延長会館・・・ 25日(土) 20時までオープン

ふれ愛フリーマーケット

4月24日に亀田のふれあいプラザにて「ふれ愛フリーマーケット」が行われ、出展販売をさせていただきました。日差しの強い日となりましたが、多くの方にお越しいただきました♪



☆新商品☆
ティッシュBOX ケース
お部屋のいどころに♪

お茶会



5月23日、東北大学吉井先生にお越しいただき、お茶会を開催しました。今回はお茶を頂くだけでなく、事前に皆さんで茶菓子を選んだり、先生から使用した茶器のお話をきかせて頂いたりしました。いつもとは違った楽しみ方ができて新鮮でしたね★



次回は
7月19日(火)
開催予定です。
詳細は次号にて
お知らせいたします。
お楽しみに!



ありがとうございました!

イエローレシートキャンペーン



頂きましたご寄附で、サーキュレーター2台、ゴミ箱、非常用の食料、水を購入させていただきました。
地域の皆様、青山イオンの皆様、ありがとうございました。



後援会のつどいのご案内

日時:平成28年6月18日(土)

13:30~16:00

場所:新潟市万代市民会館 多目的ホール(6階)

電話:025(246)7711



※第1部 13:45~ 講演

「おもしろ事件百科」(60分)

講師 弁護士法人 新潟第一法律事務所
特別相談役 今井 誠

※第2部 15:00~

みんなで楽しむ音楽会

・ハーモニカ合奏(25分)

出演:シャイニング・スターズ

・みんなで一緒に歌いましょう!(25分)

進行:阿部 光子



初夏。田上書葉…

★主のコラム

★

田上書葉、山本トトギス、初鰹」といふ言葉が似合う季節。やすらぎ堤を歩く小生も思わず心浮きたち足取りが軽い。しかし、きこえないスキップでは、どこか異音でも悪いのと同かくそいで試してはいない。信濃川には、悠々と泳ぐ桜マスの大きな魚影。こつした初夏の風景に目を奪われ、慌し費し出勤の足も鈍りがちである。

震災で大変な熊本だが、特産の西瓜がお店に有ったので協力したいと買ってみた。昔お世話になった熊本の風景が思ひ出されて、ほろ苦くもあり、じつと甘く、頂けました。

最近の店主は、ぶらぶらと母とらあ「忙しう行き来し、帳面を睨め」ことがもはやある。儲かっているのか、と問うと「顔を返すあたり敵しいのだらう。そんな店主に、初物は、長生きするとか、初鰹なんかは絶好な肴だね」と振れば、泡の季節で期間限定に「お田が無」とか、転々としたとて、おまじないはなす。



新潟しなの福社会 夏祭り開催のお知らせ

おかげさまで毎年恒例となりました「新潟しなの福社会夏祭り」を今年は8月27日(土)に開催いたします。

各施設による模擬店、関係施設などによる出展、喫茶あどばんすの営業などなど…。

楽しいイベントを現在企画中ですので是非お楽しみに(^)

☆リサイクルバザーにご協力ください☆

今年もリサイクルバザーを行います。ご家庭に眠っている日用雑貨、書籍、贈答品などがございましたらご連絡ください。売り上げは新潟しなの福社会の運営に使わせて頂きます。(※食品、衣料品はご遠慮ください)

ツアー考え中

新潟市では精神科医療・福祉・行政関係者などを対象に毎年「社会資源見学ツアー」を実施していて、今年度も秋頃の開催を目指して目下企画を進めています。精神科病院に長期間入院している方が地域での生活に戻るため、地域で生活する精神障がいを持つ方の暮らしがより良いものになるために、実際に色々な支援の現場を見学し、関係機関のお互いの理解を深めようというのがこのツアーの目的です。

以前にもこのコーナーでツアーについて紹介したことがありました。あれから回を重ねるにつれて、ただ見学して終わりではなく「各参加者の立場からの意見交換の場を持ちたい」「参加した他職種との交流の機会が欲しい」といった意見が聞かれるようになりました。これまでそれぞれの持ち場で個々に活動していた支援者同士が、積極的に繋がりたい、お互いを知りたい、と感じるようになってきているようです。そこで、今回のツアーの試みとして、そういった情報交換の場も設けたいと考えています。目標を同じくする仲間が増えるというのは、とても心強いものです。

にのみや